



週報

2011～2012年度 国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

No.0910 2011.12.5 第19例会

◆本日のプログラム

12月5日
年次総会

◆理事・役員(2011.7～2012.6)

会 長	藤岡 温	会 計	岡本 和夫	理事・親睦活動	小松 忠男
副 会 長	花房 茂	理事・職業奉仕	丹治 康浩	理事・プログラム	相原 利行
幹 事	原 全伸	理事・社会奉仕	大饗 よし江	理事・ロータリー財団	岡村 秀男
副 幹 事	樋口 芳紀	理事・国際奉仕	原田 徹美	直 前 会 長	川西 熊雄
理事・S.A.A.	山田 喜広	理事・新世代奉仕	小松原 隆代	次 期 会 長	西山 隆三郎
副 S.A.A.	河田 肇	理事・会員増強	大賀 章弘		

◆次回のプログラム

12月12日
岡山公証人合同役場
公証人 山下 満 様



Reach Within to Embrace Humanity

岡山北西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
E-mail:hokusei@6rc.jp

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

地区スローガン

「ロータリーは人をつくる」

クラブスローガン

「親睦の絆で高める奉仕の心」

●例会場
岡山市北区駅元町1-5
ホテルグランヴィア岡山

●例会日
毎週月曜日
12:30～13:30

前回11月28日の例会記録

出席の状況

会員数 50名(内出席免除 4名) 出席者数 37名 欠席者数 13名

出席率 77.08% 前々回訂正 91.67%

欠席者 藤岡、藤原、市川、入江、小松原、中西(敏)、西岡、高橋(裕)、高倉、丹治、横山、(平野)、(中西(広))

S . A . A .



樋口会員

・花房様、藤岡様、先日のひな壇食事会、ごちそう様でした。後半もがんばってまいります。

・昨日の、キラリ応援隊の参加、仕事で行けなくなってしまい申し訳ありませんでした。



相原会員

・昨日の後楽園清掃は、仕事のため途中で抜けて申し訳ありませんでした。山田さん、家族を家まで送り届けていただきありがとうございました。

・日笠さん、本日は内部卓話をお引き受けいただきありがとうございました。



原田会員

昨日は社会奉仕で、大饗さん、大変お世話になりました。久しぶりにロータリーの奉仕活動が出来ました。最高でした。



大饗会員

昨日もまたまた晴れ女の精が役に立ち、さわやかな晴天の下後楽園の落ち葉清掃を行うことができました。理大附属の生徒さんをはじめ40人の方の多数の参加を頂きまして、1時間30分しっかり落ち葉かきに精出し、達成感に満足して帰りました。



山田会員

・昨日の後楽園清掃にご参加の皆様おつかれさまでした。久々に充実感と達成感で心もきれいになりました。大饗社会奉仕委員長、ご苦労様でした。

・ひな壇食事会では、花房副会長、ごちそうさまでした。ありがとうございました。



氏房会員

21HIDMにて、レストラン「カラビーナ」で美味しいワインを楽しくいただきました。新入会員は無料でしたのでスマイルします。



岡本(浩)会員

先日はIDMに参加して楽しい一夜を過ごしました。感謝の気持ちでスマイルします。



梶谷会員

先日は私共の結婚記念日に豪華な花束をお届け下さり、誠に有難うございました。



川西会員

新入会員として坪井雅弘様をお迎えすることが出来ましたことに対しスマイル致します。本日新入会員オリエンテーションも何事も無く終了しております。会員の皆様どうか宜しくお願いします。



原会員

・昨日の後楽園清掃お疲れ様でした。先週に引き続きいい汗かきました。

・花房さん、先日はありがとうございました。



河田会員

・昨日、キラリ応援隊後楽園清掃に参加の皆様、お疲れ様でした。

・花房副会長、先日はごちそうさまでした。

以上,11件 36,000円(累計 516,500円)

幹事報告

幹事 原 全 伸

・昨日の後楽園清掃にご参加いただいた皆様、お疲れさまでした。先週に引き続き「晴れ女」大饗会員のお陰でさわやかな天気恵まれ、会員・ご家族に理大インターアクトの学生も加わって40名、毎日落葉の掃除をされている高橋(峯)会員の手際よさを見習いながら約1時間半、とても充実した社会奉仕活動を行うことができました。

・市川会員より腰を痛められたのでしばらく静養なりたいとの連絡がございましたので、出席免除の規定を適用させていただきます。

・次週、12月5日は坪井雅弘様の入会式とクラブ年次総会となっておりますので全員出席のほどお願いします。

・タイ洪水被害への義援金の件、12月5日まで例会場の受付に募金箱を設置しますので、ご協力をお願いします。

内部卓話

「不動産の鑑定評価、特に収益還元法について」

日笠 常信 会員



損益計算		収益還元法モデル							
	年次	現状	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	
営業収入	賃料収入	96,000	96,000	93,000	95,000	97,500	100,000	100,000	
	保証金等運用益	1,920	1,920	1,860	1,900	1,950	2,000	2,000	2%と査定
営業収入 計		97,920	97,920	94,860	96,900	99,450	102,000	102,000	
営業支出	土地 公租公課	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	初年度実績 以後推定
	建物 公租公課	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	初年度実績
	修繕費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	初年度実績
	維持管理費	4,800	4,800	4,650	4,750	4,875	5,000	5,000	賃料収入の5%と査定
	損害保険料	500	500	500	500	500	500	500	初年度実績
営業支出 計		18,400	18,400	18,250	18,350	18,475	18,600	18,600	
資本的支出		5,000	80,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
純収益		74,520	▲ 480	71,610	73,550	75,975	78,400	78,400	営業収入-営業費用-資本的支出
	割引率		1.07000	1.14490	1.22504	1.31080	1.40255		
	上記現在価値		-449	62,547	60,039	57,961	55,898		
	累計額		-449	62,098	122,137	180,098	235,996		
売却前年での累計							235,996		
収益価格1(DCF)		収益価格2(直線還元式)							
投資期間		5年保有で6年目売却							
売却予定年次		6年							
A 同純収益 A		78,400							
割引率		7.0%							
B 最終還元利回り		7.90%							
A÷B 売却予定価格		992,405							
引継保証金		40,000							
引継保証金控除後売却価格		952,405							
最終割引率		1.462538							
引継保証金控除後売却価格の現在価値		651,200							
売却時までの純収益累計額		235,996							
収益価格1		887,196							
		積算価格 1,300,000							

クラブ情報

後楽園一斉清掃

社会奉仕委員長 大 饗 よし江

11月27日(日)の朝9時より、キラリ応援隊の清掃活動に参加してきました。メンバー20名と家族、岡山理科大学の関係者の方々と、一般参加者、JR西日本岡山支社のみなさま方が集まりました。当日は天気も良く、100人以上の参加者で、おっきいビニール袋、50個以上の落葉を回収しました。子どもたちも熊手や竹ぼうきを手に取り、一生懸命手伝ってくれました。秋の後楽園を楽しみに来られたお客様が気持ち良く散策できるように清掃しましたが、我々もロータリー活動で貢献できたことを実感し、気持ち良くお手伝いできました。毎年されてる活動なので、来年もお手伝いできればと思います。



寄稿文

「還暦記念登山－八ヶ岳に登る－10月8日～10日」① 岡本和夫 会員

八ヶ岳は東西と南にゆったりと裾野を広げ、南北に細長い山塊である。数年前、蓼科山と甲斐駒ヶ岳に登った際、その品格のある山容に魅せられ、登頂を果たそうとずっと心に温めていた。還暦の今年、ついに実現する日がやってきた。八ヶ岳は夏沢峠によって、北八ツと南八ツに分かれるが、通常「南八ツ」を指すことが一般的である。南と北では植生も山容も全く異にしており、当然危険度も違う。「八」は単に多数を意味



するととれるが、西の俎原(まないたはら)方面から見て、ほぼ弧状に、西岳、編笠山、権現岳、阿弥陀岳、赤岳、横岳、硫黄岳、峰の松目と八つの頂が連座している。今回はその主峰である赤岳を硫黄岳、横岳を経てめざすことにした。

いつも通り正午過ぎに妻と出発した。諏訪ICで降り、今回登行を共にする次男が新潟からやってきて、一緒に夕食を摂った。すっかり日も暮れた中を、別荘地でもある美濃戸口をめざして車を走らせた。ここから宿泊地の美濃戸までの林道は悪路で、しかも夜間であり慎重にハンドルを握った。入浴後、しんと冷えてくる中、眠りについた。

翌朝6時、雲ひとつない絶好の登山日和となり、期待に胸を膨らませながら美濃戸(1,721m)を出発した。2軒の山荘の先で道は二つに分かれており、北沢を辿るルートを選った。しばらくは林道を進み、ゆっくりと高度を上げていく。やがて林道は終わり、再び道はふたてに分かれた。沢沿いのコースを辿り、幾度か沢を渡って赤岳鉱泉(2,236m)に達した。8時であった。ナナカマドやカエデの赤が少なく、紅葉の美しさには少々物足りなかった。赤岳鉱泉の頭上には「大同心」「小同心」の巨大岩峰がそそり立っており、稜線から幾筋もの急なやせ尾根が垂れている様から、気象の厳しさを推し量った。簡単に朝食をすませ、標高差500m余りを硫黄岳をめざして出発した。沢を越したあたりから、道はジグザグを繰り返してしだいに急になり、やがて木々の間から視界が開け、南方面には鋸岳の向こうに仙丈岳、南西方面に木曾駒ヶ岳をはじめとした中央アルプスの峰々が望め出した。植生がハイマツに変わって程なくして、「赤岩の頭(2,656m)」という禿げたのびやかな稜線に到着した。ここから砂礫の道を辿り、突っ立った巨岩の下を巻いて広々とした硫黄岳(2,760m)の山頂に立った。北側には半円形の噴火口の跡が切れ落ちており、荒々しい岩塊と硫黄を含んだ砂礫に600～800年前までの火山活動に思いを馳せた。ここから南の円錐形の赤岳まで、細長く峻しい岩稜の頂が続いており、ここから登山初日の後半のスタートを切った。

岩礫の広い稜線を大小のケルンに導かれて下っていき、硫黄岳山荘の建っている「大ダルミというゆるやかなコル」に達した。このあたりは、6～7月にはヤツガタケキスミレやコマクサといった高山植物が群生する所である。硫黄岳山荘は浩宮殿下が御登山された際、宿泊されたところでトイレはウォッシュレット、便座暖房という山小屋にしては豪華なものであった。ここで昼食をすませた後、赤茶けた砂礫の道を進み、台座の頭(2,795m)に達した。やせた稜線の東斜面に這うように自生するキバナシャクナゲが目につけると、眼前にはいくつもの岩稜が立ちはだかるようになった。横岳は7つの小さなピークを総称したもので、クサリやハシゴの連続で、気の緩む時もない。慎重にクリアして主峰の奥の院(2,829m)に達した。眼下には「大同心」「小同心」、赤岳鉱泉と行者小屋、そして美濃戸中山(2,387m)を挟んで北沢と南沢が下流へと続いているのが見えた。ひと息入れた後、なおも両側が切れ落ちた岩稜を慎重に進み、三叉峰(2,825m)へ達した。杣添尾根を東に分け、鉾岳、日ノ出岳を越すまで、クサリ、ハシゴの多い岩稜帯の中を岩をホールドしながら時間をかけて進んでいった。日ノ出岳を東から巻いて前方を見ると、本日宿泊する赤岳天望荘の向こうにひととき雄々しい赤岳がそびえており、東から沸き立つ雲が稜線を境に風に押し返される風景は山荘と相俟って、何か仙人郷を垣間見ているような心境になった。二十三夜峰の岩峰の傍を過ぎ、行者小屋から直登の地藏尾根の道を右から合わせて程なくして、山荘に辿り着いた。夕食は山小屋には珍しくバイキング形式であった。外に出てみると、月夜・星空のなか頂上小屋の灯りが幻想的であった。前日の最低気温は氷点下3度、最高気温は1度であったという。3人で個室をとり、眠りについた。

(続く)

12月お祝い行事

会 員 誕 生		配 偶 者 誕 生			結 婚 記 念 日	
氏 名	年月日	氏 名	配偶者名	月日	氏 名	年月日
岡 村 秀 男	S12.12.29	平 松 信	洋子	12/5	南 葉 幸 雄	12.20
福 元 裕 之	S45.12.27				山 下 浩 一	12.24
					堀 川 辰 也	12.10
					中 西 敏 子	12.10

例会情報

本日のメニュー (12月5日)

かぼちゃのヴルーテ ブラックタピオカと大山ベーコンのクリスティヤン
牛フィレ肉のポワレ オリーブとバジル風味のサバイヨン アンショアのエッセンス
ミックスグリーンサラダ シェフ特製デザート コーヒー ホテル特製パンとバター

次のメニュー (12月12日(ヘルシー和食))

牛肉柳川井 (笹がき牛蒡・玉葱・三つ葉・玉子(粉山椒))
汁物 けんちん汁 (豆腐・なめこ・椎茸・短冊大根・人参・刻み葱)
小鉢 (烏賊・分葱ぬた和え・紅立) 香の物 (三種盛り) 果物 (季節の果物)